



「15歳の夏を忘れない」

夏夏はどこまでも澄んで
 どこまでも青く澄んで
 白い雲が少しすつ
 空に手を伸ばさそうとしている
 額を流れる汗
 後輩の声援
 拍手と歓声
 それが
 遠くの茂みの
 セミの声に重なる
 目の前にある
 十五歳の夏は
 きれいにそして純粋に
 目と心に焼きついていった
 きっと十五歳の夏を
 きっとこの夏を忘れない
 それはすべてが終わった時に
 心に刻まれるからだ
 何かとても大切なものが
 心に刻まれるからだ
 そして自分にとって
 大切な世界の一つが
 静かに本当に静かに
 幕を降ろしたからだ
 終わった今だから
 きっとわかるはず
 大切なものを創り上げる
 日々の積み重ねの重さと
 希望を成し遂げようとする
 強い意志



平成 29 年度 海部地区中学校総合体育大会